

教育庁関連情報一覧（令和3年6月1日～令和3年6月30日）

「子供の読書活動優秀実践校表彰」に選ばれ、文部科学大臣賞を受賞した女川町立女川小学校の児童等が教育長を表敬訪問しました。（担当課：義務教育課）

「子供の読書活動優秀実践校」は、子供の読書活動に積極的に取り組む学校や図書館などを表彰するもので、今回、文部科学大臣表彰を受賞した女川町立女川小学校の児童の皆さんが、その活動報告のため教育長を表敬訪問しました。

【概要】

- 日時 令和3年6月2日（水） 午後3時から午後3時20分まで
- 場所 宮城県行政庁舎 16階 教育長室
- 来庁者 【女川町立女川小学校】図書委員 青山 綺珠さん、図書委員 佐竹 杏優さん
校長 伊藤 拓巳、教諭 檜垣 篤典
【女川町教育委員会】総務課長 阿部 恵様

1



東日本みやぎこども育英基金への寄附の贈呈式が行われました。

（担当課：総務課）

公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会様（本部：東京都）から、東日本大震災により親を亡くされた子どもたち等への支援として御寄附をいただき、その目録の贈呈式が行われました。

【概要】

- 日時 令和3年6月7日（月） 午後2時15分から午後2時30分まで
- 場所 県庁行政庁舎4階 知事応接室
- 贈呈者 公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
宮城県協会会長 小畑 文平様
宮城県協会社会奉仕委員長 石川 ひかり様
宮城県協会事務局長 横山 勝記様

2



一迫商業高等学校で地域と連携した避難訓練を実施しました。

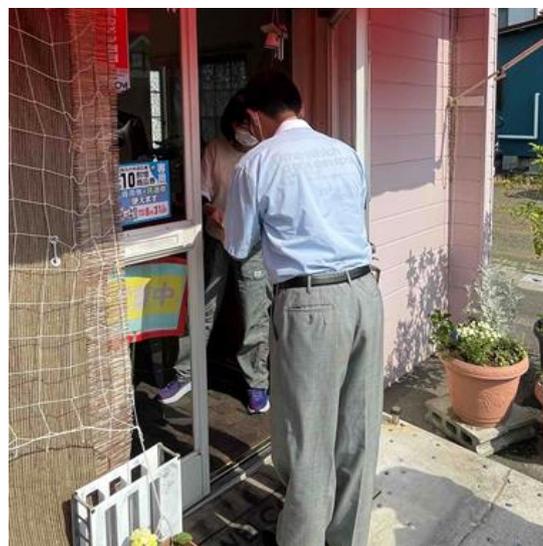
(担当課：保健体育安全課)

一迫商業高等学校において、大規模災害の発生に備え、地域住民にも参加いただき、避難訓練を実施しました。

訓練では、防災活動を通じた地域連携につなげるため、生徒が近隣家庭に減災チェックシートを配付して防災について呼びかけるとともに、高校生の視点から見た地域の危険箇所調査を行いました。

【概要】

- 日 時 令和3年6月8日（火）午後2時25分から午後3時10分
- 場 所 宮城県一迫商業高等学校 校庭
栗原市一迫地区（本町，中町，荒町，曾根）
- 内 容 ①宮城県沖を震源とする震度5の地震及び校舎の火災を想定した避難訓練
②近隣家庭への減災チェックシートの配布・危険箇所の調査
※危険箇所調査の結果に基づき、今後、生徒が作成した地域のハザードマップを住民の皆さんに提供する予定。



東日本大震災みやぎ子ども育英基金への寄附の贈呈式が行われました。

(担当課：総務課)

株式会社高速様(宮城県)から、東日本大震災により親を亡くされた子どもたち等への支援として御寄附をいただき、その目録の贈呈式が行われました。

【概要】

- 日時 令和3年6月8日(火) 午後3時30分から午後3時45分まで
- 場所 県庁行政庁舎4階 知事応接室
- 贈呈者 株式会社高速 代表取締役社長 赫 裕規様

4



令和3年度新任校長研修 移動研修(防災教育)が行われました。

(担当課：教職員課・総合教育センター)

被災地を実際に訪問することにより、東日本大震災当時の状況を深く理解し、子どもの命を守る「宮城県の教職員」としての意識を伝承及び醸成するとともに、防災に関する知識・技能をさらに習得するため、今年度の新任校長を対象に震災遺構等で研修が行われました。

【概要】

- 日時 令和3年6月9日(水) 午前9時20分から午後4時15分まで
- 会場 旧石巻市立大川小学校、
石巻市河北総合センター
- 受講者 令和3年度新任校長等(小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 計92名)

5



蔵王高等学校で学校防災アドバイザーを活用し、地域の災害特性を踏まえた避難訓練を実施しました。 (担当課：保健体育安全課)

蔵王高等学校において、蔵王町の防災部局担当者を「学校防災アドバイザー」として招き、地域の災害特性である蔵王山の噴火を想定した避難訓練を実施しました。

また、アドバイザーから地域特有の災害について講話をいただくことで、生徒が防災を我が事として捉え、自分たちの役割を再認識する機会にもなりました。

【概要】

- 日 時 令和3年6月10日（木）午後2時05分から午後2時50分
- 場 所 宮城県蔵王高等学校 各教室及び第2体育館2階
- 内 容 ①蔵王山の噴火を想定した防災マニュアルに基づく避難訓練
(学校防災アドバイザーによる訓練の参観・助言)

<被害想定・避難方法>

蔵王山の噴火で解けた雪が泥流となり斜面を一気に下る「融雪型火山泥流」の発生により、泥流が周囲の河川にも流れ込むことで、白石川支流の松川沿いに位置する同校周辺が浸水することを想定し、第2体育館2階への垂直避難を実施。

②蔵王町に特化した災害対策と地域貢献に係る講話

(学校防災アドバイザーから地域防災の在り方と高校生の役割についての講話)

- 学校防災アドバイザー 蔵王町総務課 課長補佐兼交通係兼防災係長 大本 裕樹 氏

<学校防災アドバイザー活用の経緯>

蔵王高等学校は、これまでも蔵王山の噴火を想定した避難訓練や防災対策を行ってきた。今回、さらなる防災体制の強化を図るため、担当課に「学校防災アドバイザー」の派遣依頼があったことから、地域の災害特性を熟知し、噴火等発生時に地域住民への防災対策を担う蔵王町職員の方にお話し、専門的な知見から助言をいただいたもの。



避難訓練の実施前にも、「学校防災アドバイザー」として大本氏に来校いただき、ハザードマップにより火山噴火時の学校周辺の被害状況及び噴火時の対応について、助言をいただいた。

今回の避難訓練は、その際の助言も参考にして実施したものです。

令和3年度初任者研修・新規採用者研修 移動研修（防災教育）が行われました。

（担当課：教職員課・総合教育センター）

被災地を実際に訪問することにより、東日本大震災当時の状況を深く理解し、子どもの命を守る「宮城県の教職員」としての意識を伝承及び醸成するとともに、防災に関して身につけておくべき知識・技能を習得するため、今年度の新規採用者を対象に初めて被災地を訪問する研修が4会場に分かれて行われました。

【概要】

□ 日時 令和3年6月15日（火） 午前9時30分から午後4時まで

□ 場所 旧石巻市立大川小学校，石巻市河北総合センター
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館，気仙沼向洋高等学校
震災遺構仙台市立荒浜小学校，総合教育センター
山元町震災遺構中浜小学校，ふるさとおもだか館

□ 受講者 令和3年度新規採用教職員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 計570名）

7



東日本大震災遺児作文集「お空から、ちゃんと見ててね。」の贈呈式が行われました。

（担当課：総務課）

一般財団法人あしなが育英会様から、今年2月に出版された「お空から、ちゃんと見ててね。」を知事に贈呈いただきました。

図書には、東日本大震災で親をなくした子どもたちが震災から間もない時期につづった作文のほか、震災からの10年間を振り返る手記などが収録されています。

【概要】

□ 日時 令和3年6月15日（火）午後2時45分から午後3時まで

□ 場所 宮城県行政庁舎4階 知事応接室

□ 贈呈者 一般財団法人あしなが育英会
東北レインボーハウス 所長 西田 正弘様
収録作文執筆者 萩原 彩葉様

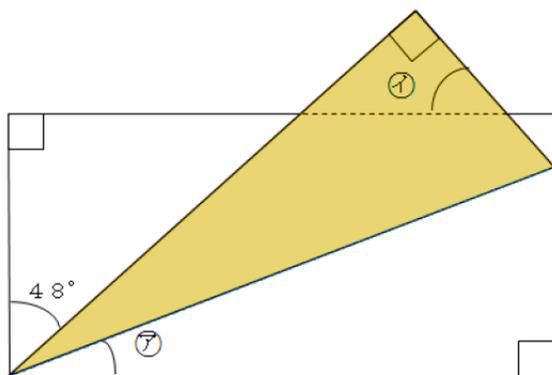
8



算チャレ2021

来たれ、算数チャレンジャー!

長方形を折って、下の図のような図形もとを作りました。
 ㉞、㉟の角の大きさを、それぞれ求めなさい。



㉞の角の大きさと同じところがありそうだよ。長方形を折った形だから...



三角形の3つの角の大きさの和は180°,
 そこから90°を引いて...



向かい合った角の大きさは同じだから...なるほど、できそうだ!



算チャレ2019本選の様子(県庁講堂)



予選：令和3年7月26日(月)、27日(火)、28日(水)、29日(木)

※いずれかの1日を各学校が決め、各学校で実施します。

本選：令和3年9月4日(土) 宮城県庁 2階講堂

- 宮城県内(仙台市を除く)市町村立小学校(義務教育学校前期課程を含む)の同一小学校3人1組(学年は問わない)で応募してください。
- 申込用紙を学校の先生から受け取るか、「算数チャレンジ大会」ホームページからダウンロードし、必要事項を記入して学校の先生に提出してください。

参加者全員に**認定証**を贈ります。
 上位チームには**メダルと賞状**が!

くわしくは、担任の先生または「**算数チャレンジ大会**」のHPへ

